

科目管理について

発展会計では科目マスタ登録メニューによって各科目を管理することが可能です。
対象機能は以下の通りです。

補助科目管理

部門管理

取引先管理 取引先残高管理

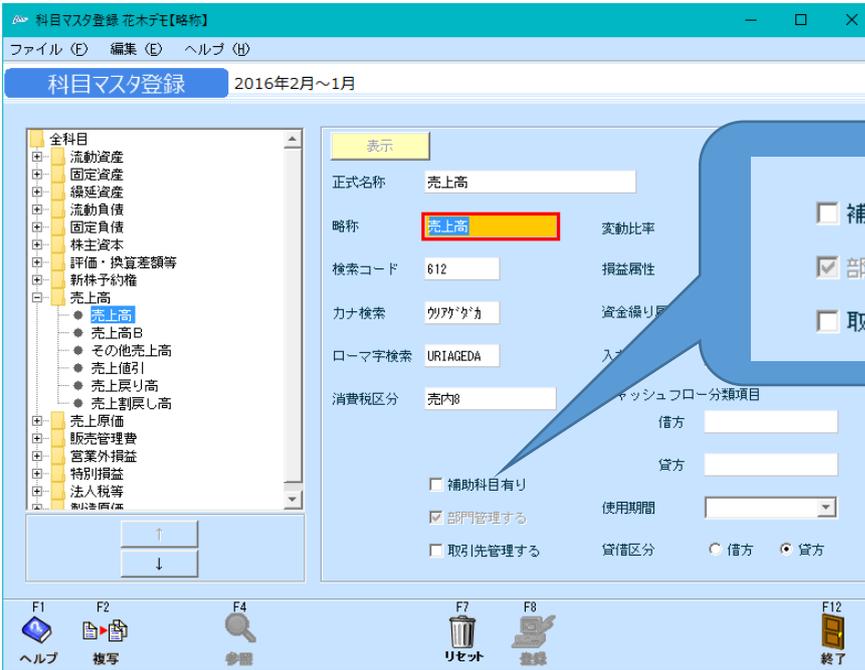
このマニュアルでは、各種科目管理の方法について項目ごとに説明いたします。
目的に応じて各リンクへ進んでください。

1	科目マスタ登録について	2
2	補助科目管理を始める	3
	初年度から補助科目管理を始める	3
	二期目以降、期の途中から補助科目管理を始める	5
3	補助科目管理をやめる	7
	使わなくなった補助科目の処理	7
	補助科目管理自体の終了	9
4	部門管理を始める	13
	初年度から部門管理を始める	13
	二期目以降、期の途中から部門管理を始める	16
5	部門管理をやめる	19
	使わなくなった部門の処理	19
	一部科目の部門管理をやめる	21
	部門管理自体の終了	25
6	取引先管理と取引先別残高管理	26
	取引先管理を始める	27
	取引先残高管理を始める	28
7	取引先管理をやめる	30
8	マスタの整理	31

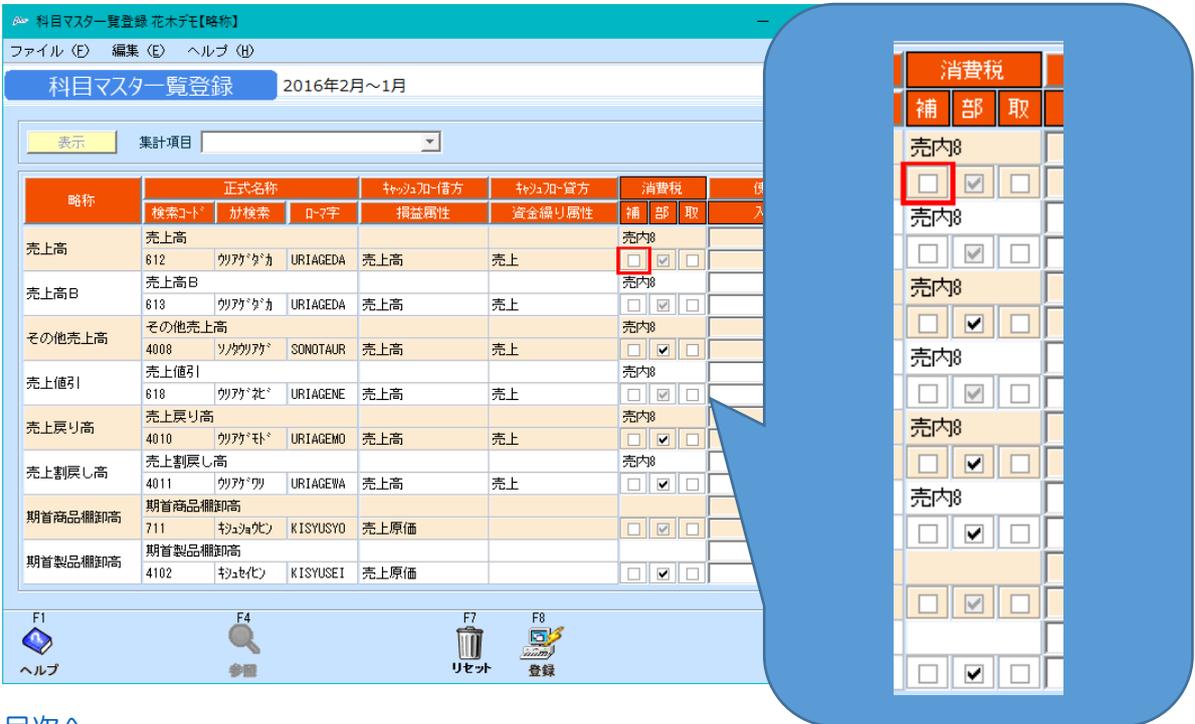
※本文内の(F7-1)等はメニューの位置を表しています。

1.科目マスタ登録について

各科目にて各種管理を行うには、F7-2 科目マスタ登録にて各管理項目を設定することが必要です。



F7-2 科目マスタ登録にて一科目ずつ設定することもできますが、設定する科目が複数ある場合には、F7-2 科目マスター一覧登録をご利用ください。



[目次へ](#)

2.補助科目管理を始める

初年度から補助科目管理を始める

- ① F7-2 科目マスター一覧登録にて「補」（補助科目あり）にチェックします

科目マスター一覧登録 2017年2月～1月

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ借方	キャッシュ貸方	消費税		使用期間
	検索コード	カナ検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部 取	入力帳簿
普通預金	普通預金 131	アホウキ	FUTUUYO	IV現金および現金	IV現金および現金 現預金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	預金出納帳入力

- ② F7-2 補助科目マスタ登録にて、補助科目を登録します。（※科目ごとに設定）

補助科目マスタ登録 2017年2月～1月

科目 普通預金

正式名称	略称	検索コード	カナ検索
青木信金/普通預金	青木/普通	1	アホウキ
埼玉懸信金/与野支店	埼玉懸信金/与野	2	サウマケンシ
三菱東京UFJ銀行	三菱東京UFJ銀行	3	ミツバシ
埼玉りそな銀行	埼玉りそな銀行	4	サウマリソナ
三井住友銀行	三井住友銀行	5	ミツイスミトモ
武蔵野銀行	武蔵野銀行	6	ムサシノ

- ③ 補助科目期首残高を設定します。

補助科目期首残高 初期表示【略】

ファイル(F) 編集(E) ヘルプ(H)

補助科目期首残高 H28/1～12

H28/1～12 期日 H28/01/01

科目選択

現金
普通預金

普通預金 表示

補助科目	残高
青木/普通	1,312
埼玉懸信金/与野	-5,571,398
三菱東京UFJ銀行	15,795,588
埼玉りそな銀行	23,184,986
三井住友銀行	4,805,046
武蔵野銀行	47,691
残高一致 <input checked="" type="checkbox"/>	
残高合計	38,263,225
科目残高	38,263,225

残高一一致させると、補助科目期首の合計額に合わせて科目期首残高が自動変更されます。

F1 ヘルプ F4 参照 F7 リセット F8 登録 F12 終了

④ 作成した補助科目にてF1-1 伝票を入力します。

仕訳伝票 2017年2月~1月

伝票日付 2017/02/01 伝票No. 1 584

表示 検索条件 行-列承認済 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 複製

付箋	借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
	借方摘要			消費税	貸方摘要			消費税
	取引先		税区分		取引先		税区分	
	252 仮諸口				131 普通預金	3 三菱東京UFJ銀行		
	自動車健保組合			451,150	自動車健保組合			451,150

⑤ F1-3 試算表に反映されます。

合計残高試算表

日付範囲 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 通期 2017/02/01 ~ 2018/01/31 表示 詳細

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書

勘定科目/補助科目	前期金額	構成比(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高
111 現金	281,152	0.1	281,152	600	514,880	-233,128
112 小口現金	-220,507	0.0	-220,507	885,600	933,001	-267,908
+ 121 当座預金	50,992,822	11.3	50,992,822	129,212,441	128,559,024	51,646,239
125 楽天カード	-183,143	0.0	-183,143	0	377,727	-560,870
- 131 普通預金	38,263,225	8.5	38,263,225	239,565,960	236,376,943	41,452,242
1 青木/普通	1,312	0.0	1,312	0	0	1,312
2 埼玉懸債金/与野	-5,571,398	-1.2	-5,571,398	6,000,641	7,024,247	-6,595,004
3 三菱東京UFJ銀行	15,795,588	3.5	15,795,588	192,148,146	191,448,273	16,495,461
4 埼玉りそな銀行	23,184,986	5.1	23,184,986	7,417,173	4,413,663	26,188,496
5 三井住友銀行	4,805,046	1.1	4,805,046	34,000,000	33,490,760	5,314,286
6 武蔵野銀行	47,691	0.0	47,691	0	0	47,691

[目次へ](#)

二期目以降、期の途中から補助科目管理を始める

- ① F7-2 科目マスター一覧登録にて「補」（補助科目あり）にチェックします

科目マスター一覧登録 2017年2月～1月

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税		使用期間
	検索コード	カナ検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部 取	入力帳簿
普通預金	普通預金 131	アホツツ	FUTUUYO	IV現金および現金	IV現金および現金 現預金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	預金出納帳入力

- ② F7-2 補助科目マスタ登録にて、補助科目を登録します。（※科目ごとに設定）

補助科目マスタ登録 2017年2月～1月

科目 普通預金

正式名称	略称	検索コード	カナ検索
青木信金/普通預金	青木/普通	1	アホツツ
埼玉懸信金/与野支店	埼玉懸信金/与野	2	サイツケンシ
三菱東京UFJ銀行	三菱東京UFJ銀行	3	ミヅウ
埼玉りそな銀行	埼玉りそな銀行	4	サイツリソナ
三井住友銀行	三井住友銀行	5	ミツイスミトモ
武蔵野銀行	武蔵野銀行	6	ムサシノ

- ③ 2年目以降、補助科目期首残高メニューは閲覧のみで入力出来ませんので期首残高は仕訳にて設定します。

・期首残高設定のための振替仕訳例

翌年度へ年次繰越を行う前、である場合

- ◆今期末の決算整理時に、仕訳を入力する。（括弧書きの内容が補助科目です）

例： 普通預金（A銀行） 800 / 普通預金（その他） 2000
 普通預金（B銀行） 500 /
 普通預金（C銀行） 700 /

- ◆決算が確定次第、年次繰越処理を行う。

- ◆翌年度の期首残高に各補助科目の残高が反映される。

翌年度へ年次繰越を行ってしまった後、である場合

- ◆翌年度の期首に、仕訳を入力する。（括弧書きの内容が補助科目です）

例： 普通預金（A銀行） 800 / 普通預金（その他） 2000
 普通預金（B銀行） 500 /
 普通預金（C銀行） 700 /

※この場合は、今期の発生額となり期首残高に反映されません。

④ 作成した補助科目にてF1-1 伝票を入力します。

仕訳伝票 2017年2月~1月

伝票日付 2017/02/01 伝票No. 3 1 584

表示 検索条件 行-列承認済 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 複製

付箋	借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
	借方摘要			消費税	貸方摘要			消費税
	取引先		税区分		取引先		税区分	
	252 仮諸口				131 普通預金	3 三菱東京UFJ銀行		
	自動車健保組合			451,150	自動車健保組合			451,150

⑤ F1-3 試算表に反映されます。

合計残高試算表

日付範囲 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 通期 2017/02/01 ~ 2018/01/31 表示 詳細

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書

勘定科目/補助科目	前期金額	構成比(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高
111 現金	281,152	0.1	281,152	600	514,880	-233,128
112 小口現金	-220,507	0.0	-220,507	885,600	933,001	-267,908
+ 121 当座預金	50,992,822	11.3	50,992,822	129,212,441	128,559,024	51,646,239
125 楽天カード	-183,143	0.0	-183,143	0	377,727	-560,870
- 131 普通預金	38,263,225	8.5	38,263,225	239,565,960	236,376,943	41,452,242
1 青木/普通	1,312	0.0	1,312	0	0	1,312
2 埼玉懸債金/与野	-5,571,398	-1.2	-5,571,398	6,000,641	7,024,247	-6,595,004
3 三菱東京UFJ銀行	15,795,588	3.5	15,795,588	192,148,146	191,448,273	16,495,461
4 埼玉りそな銀行	23,184,986	5.1	23,184,986	7,417,173	4,413,663	26,188,496
5 三井住友銀行	4,805,046	1.1	4,805,046	34,000,000	33,490,760	5,314,286
6 武蔵野銀行	47,691	0.0	47,691	0	0	47,691

[目次へ](#)

3.補助科目管理をやめる

使わなくなった補助科目の処理

- ・ 該当補助科目を使った仕訳が発生する、または該当補助科目の期首残高が登録されていると、補助科目マスタから該当補助科目は削除できなくなります。
(行削除ボタンがアクティブにならない)

合計残高試算表

日付範囲 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通期 H28/01/01 ~ H28/12/31 表示 詳細 (決算仕訳を含む)

貸借対照表 損益計算書

勘定科目/補助科目	前期金額	構成比(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比	前年比率
+ 現金	0	0.0	0	1,500	0	1,500	83.3	0.0
- 普通預金	0	0.0	800	0	500	300	16.7	0.0
青木/普通	0	0.0	300	0	500	-200	-11.1	0.0
埼玉懸信金/与野	0	0.0	500	0	0	500	27.8	0.0

補助科目マスタ登録 H28/1~12

科目 普通預金 集計部門 表示 追加

正式名称	略称	検索コード	カナ検索	ローマ字	集計部門	消費税区分	使用期間
青木信金/普通預金	青木/普通	1	アオキマツ		設定		
埼玉懸信金/与野支店	埼玉懸信金/与野	2	サイタマケンシ		設定		
三菱東京UFJ銀行	三菱東京UFJ銀行	3	ミヅウ				
埼玉りそな銀行	埼玉りそな銀行	4	サイタマリソナ				
三井住友銀行	三井住友銀行	5	ミツイトモ				
武蔵野銀行	武蔵野銀行	6	ムサシノ				

行削除できない状態

F1 ヘルプ F2 行挿入 F3 行削除 F4 参照 F7 リセット F8 登録 F12 終了

削除するには、該当補助科目が

- ・ 補助科目期首残高が入力されていないこと
 - ・ 全会計期間で仕訳に使われていないこと
- 具体的には、仕訳での補助科目の置き換え、期首残高メニューでの金額の削除などがありますが、補助科目マスタは全会計期間で共通のマスタを使用しているため、補助科目マスタから削除するには、全会計期間で青字の作業を行う必要があります。

・補助科目マスタから削除するためには、期首残高・全仕訳の修正作業が必須ですが、**入力の候補に出さない設定が出来ますので、ご案内します。**

「当期で使用終了」にする場合は、当期残高を0にしてください。

年次繰越時にエラーになります。

- ① F1-3 試算表で残高がないことを確認します

合計残高試算表

日付範囲 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通 期 H28/01/01 ~ H28/12/31 表示 詳細 (決算仕訳を含む)

貸借対照表 損益計算書

勘定科目/補助科目	前期金額	構成比(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比	前年比率
+ 1001 現金	0	0.0	0	1,500	0	1,500	83.3	0.0
- 1004 普通預金	0	0.0	800	-200	300	300	16.7	0.0
1 青木/普通	0	0.0	300	0	300	0	0.0	0.0
2 埼玉懸信金/与野	0	0.0	500	-200	0	300	16.7	0.0

- ② F7-2 補助科目マスタにて、使用期間を「当期で使用終了」に設定します。

補助科目マスタ登録 H28/1~12

科目 普通預金 集計部門 表示 追加

正式名称	略称	検索コード	カナ検索	ローマ字	集計部門	消費税区分	使用期間
青木信金/普通預金	青木/普通	1	アキアキ		設定		当期で使用終了
埼玉懸信金/与野支店	埼玉懸信金/与野	2	サキマツ		設定		

- ③ F3-4 年次繰越後 F7-2 補助科目マスタの使用期間は使用不可と表示されます。

補助科目マスタ登録 H29/01~12

科目 普通預金 集計部門 表示 追加

正式名称	略称	検索コード	カナ検索	ローマ字	集計部門	消費税区分	使用期間
青木信金/普通預金	青木/普通	1	アキアキ		設定		使用不可
埼玉懸信金/与野支店	埼玉懸信金/与野	2	サキマツ		設定		
三菱東京UFJ銀行	三菱東京UFJ銀行	3	ミヅウ		設定		

- ④ 該当補助科目は、入力の候補に出なくなります。

仕訳伝票 H29/01~12

伝票日付 H29/12/06 伝票No. 表示 検索条件 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
借方摘要				貸方摘要			
取引先	税区分		消費税	取引先	税区分		消費税
1004 普通預金							
	その他 [89999999]						
	三井住友銀行 [5]						
	三菱東京UFJ銀行 [3]						
	埼玉りそな銀行 [4]						
	埼玉懸信金/与野 [2]						
	武蔵野銀行 [6]						

[目次へ](#)

補助科目管理自体の終了

- ・補助科目で期首残高入力があるか仕訳で使われていると、「補」（補助科目あり）のチェックが外せなくなります。

(チェック部分がグレーアウトする)

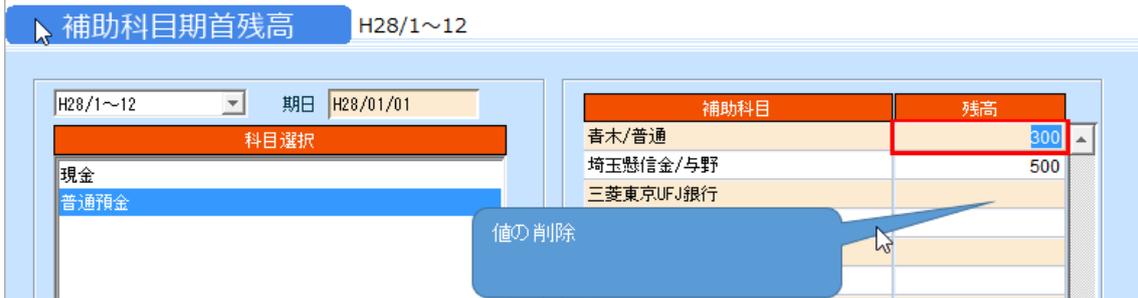
科目マスター登録		2017年2月～1月					
表示		集計項目					
略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税	使用期間
	検索コード	が検索	ロ-マ字	損益属性	資金繰り属性	補 部 取	入力帳簿
普通預金	普通預金			IV現金および現金	IV現金および現金	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	預金出納帳入力
	131	フウヨキ	FUTUUYO		現預金		

「科目マスタ登録」で「補助科目あり」のチェックを外すためには、該当補助科目を補助科目期首残高や仕訳で使用していない状態にしなければなりません。

補助科目マスタは全会計期間で共通のマスタを使用しているため、科目マスタにて補助科目管理をやめるには、全会計期間で下記の作業を行う必要があります。

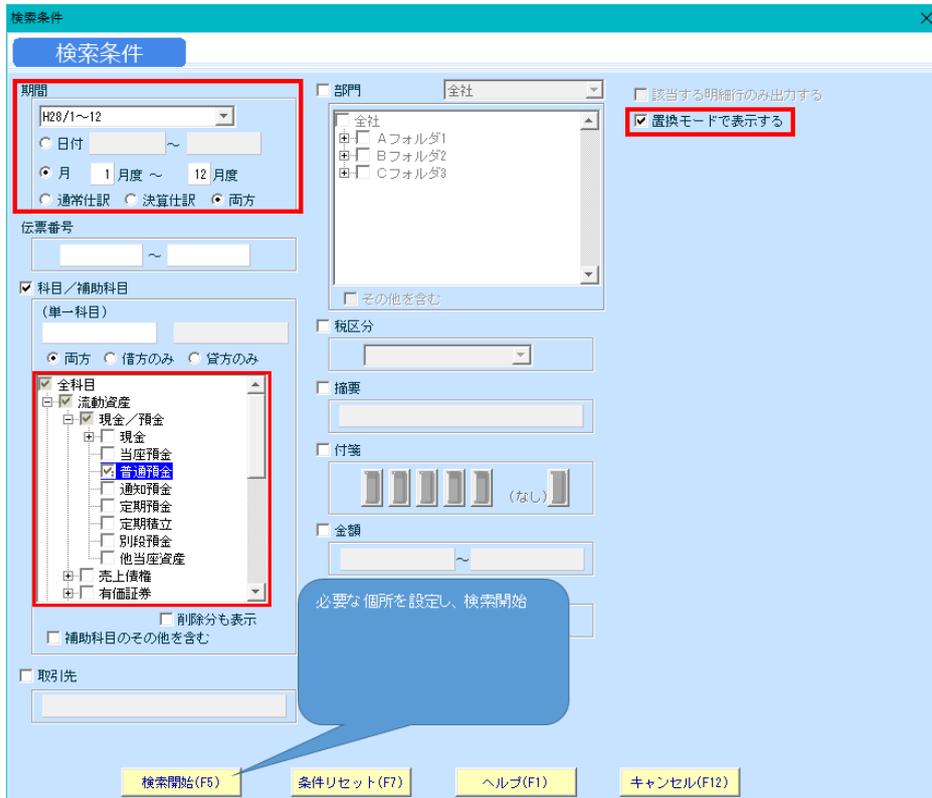
発展会計では2会計期間（今期・来期）の追加修正が可能なので、3期目の仕訳が発生していない状態でしたら、**期首残高メニューでの数字の削除**や**置換機能**などで、対応できますが、上記伝票が発生している場合、3期目以降の伝票をバックアップ⇒削除⇒年度戻しで初年度へ戻る、という作業が必要です。

• F7-4 補助科目期首残高メニュー 値の削除



• 置換機能を使って、仕訳を修正する方法

- ① F1-2 仕訳日記帳 (画面) ⇒ 検索条件ボタン ⇒ 置換モードで仕訳を呼び出す。



- ④ 仕訳日記帳画面にて、置換候補の色が変わるので、目視にて確認し、置換結果に問題がなければ登録 (F8)

仕訳日記帳 初期表示【略】

ファイル (E) 編集 (E) 移動 (I) ヘルプ (H)

仕訳日記帳 H28/1~12

日付範囲 H28/01/01 ~ H28/12/31 通期

表示 検索条件 付戻▲ 付戻▼

日付	借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
伝票番号	取引先		税区分	消費税	取引先		税区分	消費税
H28/01/01	1001 現金	101 店現金	101 末端部門1		1004 普通預金	999999999 その他		
4	預金引き出し			500	預金引き出し			500
	1004 普通預金	999999999 その他			1004 普通預金	999999999 その他		
	残高移行			-200	残高移行			-200
				借方合計	貸方合計			
				300	300			

F1 ヘルプ F5 見出しへ F6 置換設定 F8 登録 F9 合計残高試算表 F11 付戻 F12 終了

- ⑤ F7-2 科目マスター一覧登録。「補」(補助科目あり) のチェックを外して登録 (F8)

科目マスター一覧登録 H28/1~12

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税			使用期間
	検索コード	が検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部	取	入力帳簿
現金	現金			IV現金および現金	IV現金および現金				
	1001	ゲンキン	GENKIN		現預金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現金出納帳入力
当座預金	当座預金			IV現金および現金	IV現金および現金				
	1003	トウザヨキ	TOUZAYO		現預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	預金出納帳入力
普通預金	普通預金			IV現金および現金	IV現金および現金				
	1004	フツウキ	FUTUUYO		現預金	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	預金出納帳入力

- ⑥ F1-1 仕訳伝票入力画面にて確認。普通預金は補助科目入力不可の状態になる。

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 H29/12/06 伝票No. 表示 検索条件 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付戻▲ 付戻▼ 追加 修正 参照 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
取引先		税区分	消費税	取引先		税区分	消費税
1004 普通預金							

- ・上記以外にも科目を複製・振替仕訳にて残高を移行・新しい科目は補助科目管理をしない、という方法もございますが、二期比較等の帳票に影響が出ることをご了承ください。

[目次へ](#)

4.部門管理を始める

初年度から部門管理を始める

- ① F7-1 年度別会計マスタ登録にて「部門管理あり」にチェックを入れます。

年度別会計マスタ登録 H28/1~12

会計年度: H28/1~12 [表示]

会計期間: H28/01/01 ~ H28/12/31
消費税経理処理方式: 税込 税抜

設立日: []
決算書形式: 2006年度形式
法人税電子申告: 法人税の連入

年度名称: H28/1~12
消費税課税区分: 免税 簡易課税 本則課税 個別 本則課税 比例

月度名: 開始日の月名 終了日の月名
消費税課税区分: 免税 簡易課税 本則課税 個別 本則課税 比例

伝票番号形式: 年度単位 月単位
課税売上割合: 事前に申請 [] %

仕掛品計上: []
課税売上割合: 事前に申請 [] %

期末仕掛品増加額計上: []
消費税計算の丸め: 切り上げ 切り捨て 四捨五入

平均従業員数: 10.00 人 部門管理あり
平均売場面積: 100.00 m² 製造原価管理する

- ② F7-1 部門マスタ登録にて部門を登録します。(すべての科目で共通のマスタ)

部門マスタ登録 H28/1~12

[表示] [追加]

正式名称	略称	検索コード	カナ検索
末端部門1	末端部門1	101	仔
末端部門2	末端部門2	102	ニ
末端部門3	末端部門3	103	サ
末端部門4	末端部門4	104	ヨ
末端部門5	末端部門5	105	コ
末端部門6	末端部門6	106	ク

- ③ F7-1 部門構成マスタにて、部門の構成を作成します。

作成したツリーから選択することによって部門やフォルダ単位の試算表を出すことができます。

部門構成マスタ登録 H28/1~12

[追加] パターン: 全社 [表示] 有効期間: [] 標準パターン

会社

- Aフォルダ1
 - 末端部門1
 - 末端部門2
- Bフォルダ2
 - 末端部門3
 - 末端部門4
- Cフォルダ3
 - 末端部門5
 - 末端部門6

入力部門操作

正式名称: [] 略称: []

検索コード: []

- ④ F7-2 科目マスター一覧登録にて、部門管理したい科目の「部」(部門管理する)にチェックを入れます。

科目マスター一覧登録 初期表示【略】

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

科目マスター一覧登録 H28/1~12

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税			使用期間
	検索コード	カナ検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部	取	入力帳簿
売上高	売上高								
	4001	ウツタガカ	URIAGEDA	売上高	売上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	売内8
その他売上高	その他売上高								
	4008	ソノタウラ	SONOTAUR	売上高	売上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	売内8
売上値引	売上値引								
	4009	ウツタガサ	URIAGENE	売上高	売上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	売内8
売上戻り高	売上戻り高								
	4010	ウツタガモト	URIAGEMO	売上高	売上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	売内8
売上割戻し高	売上割戻し高								
	4011	ウツタガワ	URIAGewa	売上高	売上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	売内8
期首商品棚卸高	期首商品棚卸高								
	4101	キスユウシヨ	KISYUSYO	売上原価		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
期首製品棚卸高	期首製品棚卸高								
	4102	キスユウセイ	KISYUSEI	売上原価		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
仕入高	仕入高								
	4103	シイレダカ	SIIREDAK	売上原価	仕入	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕課内8

F1 ヘルプ F4 参照 F7 リセット F8 登録 F12 終了

- ⑤ F7-4 部門別科目期首残高にて部門ごとの期首残高を設定します。

部門別科目期首残高 初期表示【略】

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

部門別科目期首残高 H28/1~12

H28/1~12 期日 H28/01/01 表示 残高一致 全てオ 全てオ

科目	残高	合計	末端部門1	末端部門2	末端部門3	末端部門4
現金						
中間配当積立取崩						
中間配当金						
利益準備金積立						

F1 ヘルプ F4 キバット F7 リセット F8 登録 F12 終了

残高一致 全てオンにすると部門残高の合計に合わせて科目残高が自動変更されます。

⑥ 仕訳にて部門情報を入力します。

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 伝票No. 表示 検索条件 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 複製

H28/01/01 5

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
借方摘要				貸方摘要			
取引先		税区分	消費税	取引先		税区分	消費税
1103 売掛金				4001 売上高		102 末端部門2	
掛売上			1,000	掛売上			1,000
						売内8	(74)

⑦ 部門ごとの試算表に反映されます。

表示条件

表示条件

期間

決算仕訳 含む 含まない のみ

H28/1~12

期首月からそろえる

通 期

月 1 月度 ~ 12 月度

税込で集計 税抜で集計

増減 繰越

補助科目管理しているすべての科目で補助科目を表示

部門 全社

取引先コード

- 全社
 - Aフォルダ1
 - 末端部門1
 - 末端部門2
 - Bフォルダ2
 - Cフォルダ3

OK(F5) 条件リセット(F7) ヘルプ(F1) キャンセル(F12)

ファイル(E) 編集(E) 移動(I) 設定(S) ヘルプ(H)

合計残高試算表

日付範囲 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通 期 H28/01/01 ~ H28/12/31 表示 詳細 (決算仕訳を含む) 102 末端部門2

貸借対照表 損益計算書

部門情報

勘定科目/補助科目	前期金額	対売上(前期)	繰越	残高	対売上	前年比率
4001 売上高	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0
[売上高]	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0
[売上総利益]	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0
[営業損益]	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0
[経常損益]	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0
[税引前当期純利益]	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0
[当期純利益]	0	0.0	0	1,000	1,000	100.0

[目次へ](#)

二期目以降、期の途中から部門管理を始める

① F7-1 年度別会計マスタ登録にて「部門管理あり」にチェックを入れます。

年度別会計マスタ登録 H28/1~12

会計年度: H28/1~12

会計期間: H28/01/01 ~ H28/12/31

設立日:

年度名称: H28/1~12

月度名: 開始日の月名 終了日の月名

伝票番号形式: 年度単位 月単位

仕掛品計上:

期末仕掛品欄部額計上:

平均従業員数: 10.00 人

平均売場面積: 100.00 m²

消費税経理処理方式: 税込 税抜

決算書形式: 2006年度形式

法人税電子申告: 法人税の連入

消費税課税区分: 免税 簡易課税 本則課税 個別 本則課税 比例

課税売上割合: 事前申請 _____ %

消費税計算の丸め: 切り上げ 切り捨て 四捨五入

部門管理あり

製造原価管理する

② F7-1 部門マスタ登録にて部門を登録します。(すべての科目で共通のマスタ)

部門マスタ登録 H28/1~12

表示 追加

正式名称	略称	検索コード	カナ検索
末端部門1	末端部門1	101	仔
末端部門2	末端部門2	102	こ
末端部門3	末端部門3	103	か
末端部門4	末端部門4	104	ヨ
末端部門5	末端部門5	105	コ
末端部門6	末端部門6	106	か

③ F7-1 部門構成マスタにて、部門の構成を作成します。

作成したツリーから選択することによって各部門単位やフォルダ単位の試算表を出すことができます。

部門構成マスタ登録 H28/1~12

追加 パターン 全社 表示 有効期間 標準パターン

- 全社
 - Aフォルダ1
 - 末端部門1
 - 末端部門2
 - Bフォルダ2
 - 末端部門3
 - 末端部門4
 - Cフォルダ3
 - 末端部門5
 - 末端部門6

入力部門操作

正式名称 略称

検索コード

- ④ F7-2 科目マスター一覧登録にて、部門管理したい科目の「部」(部門管理する)にチェックを入れます。

略称	正式名称			キャッシュ加-借方 損益属性	キャッシュ加-貸方 資金繰り属性	消費税			使用期間 入力帳簿
	検索コード	カナ検索	ローマ字			補	部	取	
売上高	売上高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4001	ウリアゲダ	URIAGEDA	売上高	売上				
その他売上高	その他売上高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4008	ソノタウ	SONOTAUR	売上高	売上				
売上値引	売上値引						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4009	ウリアゲ	URIAGENE	売上高	売上				
売上戻り高	売上戻り高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4010	ウリアゲモ	URIAGEMO	売上高	売上				
売上割戻し高	売上割戻し高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4011	ウリアゲワ	URIAGEWA	売上高	売上				
期首商品棚卸高	期首商品棚卸高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4101	キスユシヨ	KISYUSYO	売上原価					
期首製品棚卸高	期首製品棚卸高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4102	キスユセイ	KISYUSEI	売上原価					
仕入高	仕入高						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4103	シイレダク	SIIREDAK	売上原価	仕入				

- ⑤ 二期目以降は部門別科目期首残高の入力ができませんので、期首残高は仕訳にて設定します。

・ **その他部門を使用可能にする。**

◆仕訳伝票入力画面(単一メニューや元帳入力画面でも可能)を開き、設定画面(B)を呼び出す。

◆設定画面にて、その他の部門/使用するにチェックし、使用可能にしてOK (F8)

・期首残高設定のための振替仕訳例

・翌年度へ年次繰越を行う前、である場合

- ◆ 今期末の決算整理時に、仕訳を入力する。(括弧書きの内容が部門です)

例： 売掛金 (A 商店) 800 / 売掛金 (その他) 2000
 売掛金 (B 工業) 500 /
 売掛金 (C 商事) 700 /

- ◆ 決算が確定次第、年次繰越処理を行う。

- ◆ 翌年度の期首残高に各部門の残高が反映される。

・翌年度へ年次繰越を行った後、である場合

- ◆ 今期末の決算整理時に、仕訳を入力する。(括弧書きの内容が部門です)

例： 売掛金 (A 商店) 800 / 売掛金 (その他) 2000
 売掛金 (B 工業) 500 /
 売掛金 (C 商事) 700 /

※この場合は当期発生額となり、期首残高に部門の残高は反映されません。

⑥ 仕訳にて部門情報を入力します。

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 H28/01/01 伝票No. 5

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
1103 売掛金				4001 売上高		102 末端部門2	
掛売上			1,000	掛売上			1,000
						売内8	(74)

⑦ 部門ごとの試算表に反映されます。

合計残高試算表

日付範囲 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通期 H28/01/01 ~ H28/12/31

貸借対照表 損益計算書

勘定科目/補助科目	前期金額	対売上(前期)	繰越	残高	対売上	前年比率
4001 売上高	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0
【売上高】	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0
【売上総利益】	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0
【営業損益】	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0
【経常損益】	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0
【税引前当期純利益】	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0
【当期純利益】	0	0.0	0	1,000	100.0	0.0

[目次へ](#)

5.部門管理をやめる

使わなくなった部門の処理

部門を使った仕訳が発生する、または該当部門の期首残高が登録されていると、部門は削除できなくなります。

(行削除ボタンがアクティブにならない)

合計残高試算表

日付範囲 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通 期 H28/01/01 ~ H28/12/31 表示 詳細 (決算仕訳を含む) 102 末端部門2

貸借対照表 損益計算書

勘定科目/補助科目	前期金額	対売上(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高	対売上	前年比率
4001 売上高	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0
[売上高]	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0
[売上総利益]	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0
[営業損益]	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0
[経常損益]	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0
[税引前当期純利益]	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0
[当期純利益]	0	0.0	0	0	1,000	1,000	100.0	0.0

部門マスタ登録 初期表示【略】

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

部門マスタ登録 H28/1~12

表示 追加

行削除できない状態

正式名称	略称	検索コード
末端部門1	末端部門1	101
末端部門2	末端部門2	102
末端部門3	末端部門3	103
末端部門4	末端部門4	104
末端部門5	末端部門5	105
末端部門6	末端部門6	106

F1 ヘルプ F2 行挿入 F3 行削除 F4 参照 F7 リセット F8 登録 F12 終了

削除するには、該当部門を使用していない状態にしなければなりません。

具体的には、仕訳での部門の置き換え、期首残高メニューでの数字の削除などがありますが、部門マスタは全会計期間で共通のマスタを使用しているため、部門マスタから削除するには、全会計期間で青字の作業を行う必要があります。

・部門マスタから削除するためには、期首残高・全仕訳の修正作業が必須ですが、下記の作業により**入力の候補に出さない処置は可能です**。

部門の残高がないことを条件に、以下の作業をしてください。

① F1-3 試算表で残高がないことを確認

合計残高試算表

日付範囲 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通期 H28/01/01 ~ H28/12/31 表示 詳細 (決算仕訳を含む) 102 末端部門2

貸借対照表 損益計算書

勘定科目/補助科目	前期金額	対売上(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高	対売上	前年比率
4001 売上高	0	0.0	0	1,000	1,000	0	0.0	0.0
【売上高】	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
【売上税利益】	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
【営業損益】	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
【経常損益】	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
【税引前当期純利益】	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
【当期純利益】	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0

② F7-1 部門マスタ登録にて、該当部門の使用期間を「当期で使用終了」

部門マスタ登録 H28/1~12

表示 追加

正式名称	略称	検索コード	カナ検索	ローマ字	使用期間
末端部門1	末端部門1	101	仔		
末端部門2	末端部門2	102	ニ		当期で使用終了
末端部門3	末端部門3	103	サ		
末端部門4	末端部門4	104	シ		
末端部門5	末端部門5	105	コ		
末端部門6	末端部門6	106	ク		

③ F3-4 年次繰越後 F7-1 部門マスタ登録の該当部門の「使用期間」欄は「使用不可」という表示になります。

部門マスタ登録 H29/01~12

表示 追加

正式名称	略称	検索コード	カナ検索	ローマ字	使用期間
末端部門1	末端部門1	101	仔		
末端部門2	末端部門2	102	ニ		使用不可
末端部門3	末端部門3	103	サ		
末端部門4	末端部門4	104	シ		
末端部門5	末端部門5	105	コ		
末端部門6	末端部門6	106	ク		

④ 該当部門は、入力候補に出なくなります。

仕訳伝票 H29/01~12

伝票日付 H29/12/07 伝票No. 表示 検索条件 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	部門	貸方金額
取引先	借方摘要	税区分	消費税	税区分	消費税
4001 売上高		その他[999]			
		末端部門1 [101]			
		末端部門3 [103]			
		末端部門4 [104]			
		末端部門5 [105]			
		末端部門6 [106]			

末端部門2は候補から消えている

[目次へ](#)

一部科目の部門管理をやめる

・部門を使った仕訳が発生する、または該当部門の期首残高が登録されていると、部門管理のチェックが外せなくなります。

(チェック部分がグレーアウトする)

略称	正式名称			キャッシュ借方	キャッシュ貸方	消費税			使用期間	
	検索コード	加検索	ローマ字			損益属性	資金繰り属性	補		部
売上高	売上高			売上高	売上	売内	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

削除するには、該当部門を使用していない状態にしなければなりません。

部門マスタは全会計期間で共通のマスタを使用しているため、科目マスタにて部門管理をやめるには、全会計期間で下記の作業を行う必要があります。

発展会計では2会計期間（今期・来期）の追加・修正が可能なので、3期目の仕訳が発生していない状態ならば、**期首残高メニューでの数字の削除**や**置換機能**などで、対応できますが、3期目以降の伝票が発生している場合、3期目以降の伝票をバックアップ⇒削除⇒年度戻して初年度へ戻る、という作業が必要です。

表示条件

表示条件

期間

決算仕訳 含む 含まない のみ

H29/01~12
H28/1~12
H29/01~12
H30/01~12

初年度
2期目(今期)
3期目(来期)

3期目のデータをバックアップ
削除+年度戻し⇒初年度に戻る
期首残高の削除と
使用している部門を
置換することで
科目の部門管理をやめられる

取引先コード

補助科目管理しているすべての
科目で補助科目を表示

OK(F5) 条件リセット(F7) ヘルプ(F1) キャンセル(F12)

・F7-4 期首残高メニューでの値の削除

部門別科目期首残高 H28/1~12				
H28/1~12		期日	H28/01/01	表示
				残高一致 <input type="button" value="全てわ"/> <input type="button" value="全てわ"/>
科目	残高	合計	末端部門1	末端部門2
現金	500	500	500	
買掛金				
中間配当積立取崩				
中間配当金				
利益準備金積立				

・その他の部門の使用可能にする。

- ① 仕訳伝票入力画面（単一メニューや元帳入力画面でも可能）を開き、設定画面（B）を呼び出す。

ファイル(E) 編集(E) 移動(I) 設定(S) ヘルプ(H)

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 伝票No.

H29/12/07

- ② 設定画面にて、その他の部門/使用するにチェックし、OK（F8）

設定画面

初期部門設定

損益科目用

その他科目用

入力設定

その他部門

使用する

その他補助科目

使用する

デザインテーマ

初期入力モード

・置換機能を使って仕訳を修正する方法

- ③ F1-2 仕訳日記帳（画面）⇒検索条件ボタン⇒置換モードで仕訳を呼び出す。

検索条件

期間

H28/1~12

日付 01/01 ~ 12/31

月 1 月度 ~ 12 月度

通常仕訳 決算仕訳 両方

伝票番号

科目/補助科目

(単一科目)

両方 借方のみ 貸方のみ

全科目

- 流動資産
- 固定資産
- 繰延資産
- 流動負債
- 固定負債
- 株主資本
- 評価・換算差額等
- 新株予約権
- 売上高
- 売上原価
- 販売管理費
- 営業外損益

削除分も表示

補助科目のその他を含む

取引先

部門 全社

- 全社
 - Aフォルダ1
 - 末端部門1
 - 末端部門2
 - Bフォルダ2
 - 末端部門3
 - 末端部門4
 - Cフォルダ3
 - 末端部門5
 - 末端部門6
- その他を含む

該当する明細行のみ出力する

置換モードで表示する

必要な箇所を設定し、検索開始(F5)

④ 呼び出した仕訳を確認の上、F6置換設定ボタンをクリック

仕訳日記帳 初期表示【略】

ファイル(E) 編集(E) 移動(I) ヘルプ(H)

仕訳日記帳 H28/1~12

日付範囲 H28/01/01 ~ H28/12/31 通期

表示 検索条件 付箋▲ 付箋▼

付箋	日付 伝票番号	借方			貸方					
		借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額	
		取引先	借方摘要	税区分	消費税	取引先	貸方摘要	税区分	消費税	
	H28/01/01	1001 現金	101 店現金	101 末端部門1		1004 普通預金				
	4	預金引き出し			500	預金引き出し			500	
		1004 普通預金				1004 普通預金				
		残高移行			-200	残高移行			-200	
	H28/01/01	1103 売掛金				4001 売上高		102 末端部門2		
	5	掛売上			1,000	掛売上			1,000	
		4001 売上高		102 末端部門2		4001 売上高		101 末端部門1	(74)	
		残高移行			1,000	残高移行		101 末端部門1	1,000	
				売内8	(74)			売内8	(74)	
借方合計					2,300	貸方合計 2,300				

該当仕訳が呼び出されたのを確認の上、F6置換設定をクリック

F1 ヘルプ F5 明細へ F6 置換設定 F8 登録 F9 合計残高試算表 F11 付箋 F12 終了

⑤ 置換設定にて、部門⇒退避用の部門に置き換える設定を入力し、実行 (F5)

置換設定

置換設定

伝票日付

通常仕訳

通常仕訳から決算仕訳へ

決算仕訳から通常仕訳へ

科目/補助科目

部門

末端部門2 → 999

101 末端部門1

102 末端部門2

103 末端部門3

104 末端部門4

105 末端部門5

106 末端部門6

9999 その他

↓追加 削除

↑ ↓

実行(F5) 設定リセット(F7) ヘルプ(F1) キャンセル(F12)

必要な置換条件を設定+↓追加
条件がそろったら実行(F5)

- ⑥ 仕訳日記帳画面にて、置換候補の色が変わるので、目視にて確認し、置換結果に問題がなければ登録 (F8)

仕訳日記帳 H28/1~12

日付範囲 H28/01/01 ~ H28/12/31 通期 表示 検索条件 付箋▲ 付箋▼

付箋	日付	伝票番号	借方科目			借方金額	貸方科目			貸方金額		
			借方摘要	補助科目	部門		貸方摘要	補助科目	部門			
			取引先	税区分	消費税	取引先			税区分	消費税		
	H28/01/01	4	1001 現金	101 店現金	9999 その他		1004 普通預金					
			預金引き出し			500	預金引き出し			500		
			1004 普通預金				1004 普通預金					
			残高移行			-200	残高移行			-200		
	H28/01/01	5	1103 売上高				4001 売上高		9999 その他			
			掛売上			1,000	掛売上			1,000		
									売内8	(74)		
			4001 売上高		9999 その他		4001 売上高		9999 その他			
			残高移行			1,000	残高移行			1,000		
					売内8	(74)			売内8	(74)		
借方合計						2,300	貸方合計					2,300

F1 ヘルプ F5 明細へ F6 置換設定 F8 登録 F9 合計残高試算表 F11 付箋 F12 終了

- ⑦ F7-2 科目マスター一覧登録を確認。チェックを外して登録(F8)

科目マスター一覧登録 H28/1~12

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ借方	キャッシュ貸方	消費税		使用期間		
	検索コード	カナ検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部	取		
		入力帳簿								
売上高	売上高	4001	ウツクガカ	URIAGEDA	売上高	売上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	売内8

- ⑧ F1-1 仕訳伝票入力画面にて確認。売上高は部門入力不可の状態になる。

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 H29/12/07 伝票No. 表示 検索条件 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 複製

付箋	借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額		
									借方摘要	借方摘要
			取引先	税区分	消費税	取引先			税区分	消費税
	4001 売上高									
							売内8			

- ・上記以外にも、科目を複製し、振替仕訳にて残高を移し、新しい科目は部門管理をしない、という方法もございますが、二期比較等の帳票に影響が出ることをご了承ください。

[目次へ](#)

部門管理自体の終了

発展会計は年度単位で部門管理をする/しない の選択ができます。

該当会計期間で部門情報のある仕訳が 1 枚も入っていない状態でしたら、**F7-1 年度別会計マスタ登録**にて、**部門管理有りのチェックを外す**ことができます。

部門管理有りのチェックが外れない場合は、部門情報のある仕訳が発生しているということです。置換機能による仕訳での部門の置き換えにて部門を使用していない状態にしていれば、部門管理有りのチェックを外すことができます

[目次へ](#)

6.取引先管理と取引先別残高管理

発展会計の取引先は、以下二つの使用方法があります。

取引先管理

仕訳の取引先欄に取引先情報を入力し、該当仕訳が該当取引先の仕訳であるという自由入力欄として使用します。この使用方法では、取引先ごとの集計帳票の出力や置換機能を使った取引先の変更はできかねます。

取引先残高管理

仕訳に入力した取引先情報をもとに、取引先ごとの残高科目ごと、取引先ごとの残高一覧表を出力できます。

取引先管理を始める前に、どちらで運用するのか方針を決めてください。

いずれも、F7-2 取引先マスタ登録に登録したマスタから入力いたしますが
入力が進んだ段階で取引先管理⇒取引先残高管理に切り替えると
取引先管理時代に入力した値は「メモ」としてしか扱われず、取引先別に
残高管理表に反映されませんので、ご注意ください。

科目別取引先残高一覧表

初期表示【正式名称】		(決算仕訳を含む) 平成28年01月 ~ 平成28年12月					
科目	補助科目	取引先名	繰越額	借方金額	貸方金額	残高	
買掛金			0	1,000	0	-1,000	
		101 原本電気商会	1,000	0	0	1,000	
		999 調整	-1,000	1,000	0	-2,000	

取引先別の入力として認識しない
認識させる場合、伝票の再登録が必要

[目次へ](#)

取引先管理を始める

- ① F7-2 科目マスター登録にて「取」（取引先管理する）欄にチェックします

科目マスター登録 H28/1~12

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税		使用期間
	検索コード	加検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部	取
買掛金	買掛金			仕入債務の増減額	仕入債務の増減額			
	2002	かかキ	KAIKAKEK		買掛	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

- ② F7-2 取引先マスタ登録にて、取引先を登録します。（すべての科目で共通のマスタ）
 ※取引先コードは一度登録すると変更できません

取引先マスタ登録 2017年2月~1月

取引先コード ~ 集計部門 表示 追加

取引先コード	正式名称	略称	加検索	電話番号	集計部門	使用期間	郵便番号	住所1	住所2	担当者
1001	原木電気商会	原木電気商会	かか	096720568		設定				
1002	マスイ	マスイ	マ			設定				
1003	広島高速道路公社都市高速	広島高速道路公社都市	広島	0822501181		設定				
1004	NEXCO 西日本	NEXCO 西日本	ナ	0828480395		設定				
1005	NEXCO 西日本	NEXCO 西日本	ナ	0868282401		設定				

- ③ 作成した取引先にてF1-1 伝票を入力します。

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 伝票No. 1
 H28/01/01 6 表示 検索条件 移動 伝票▲ 伝票▼ 付録▲ 付録▼ 追加 修正 参照 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
2002 買掛金				1004 普通預金			
買掛金支払			500	買掛金支払			500
マスイ							

取引先情報を入力

仕訳伝票 H28/1~12

伝票日付 伝票No. 2
 H28/01/01 7 表示 検索条件 追加 修正 参照 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
2002 買掛金				1004 普通預金			
買掛金支払			500	買掛金支払			500
原木電気商会							

- ④ 仕訳日記帳などで、取引先で検索できます。

総勘定元帳 H28/1~12

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 通期 1 2 3 4

日付範囲 科目 補助科目 部門 絞込中
 H28/01/01 ~ H28/12/31 2002 買掛金 表示 修正 追加 伝票日付順 付録▲ 付録▼

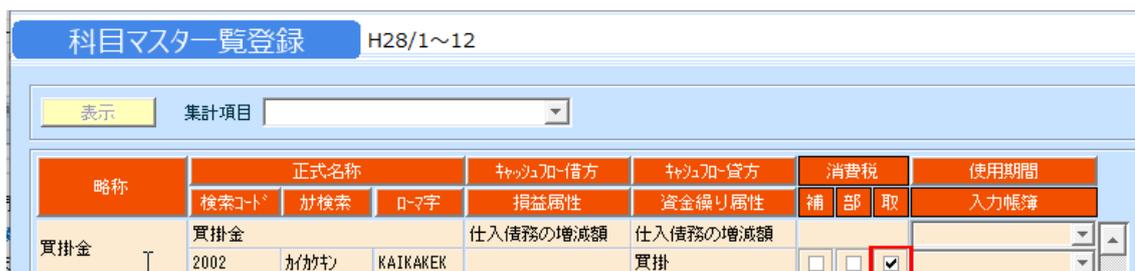
日付	伝票番号	補助科目	部門	借方金額	貸方金額	繰越金額
		取引先				残高
		マスイ				ANDで絞込み ORで絞込み
H28/01/01	6	買掛金支払	1004 普通預金	500		-500
		マスイ				

元帳の絞り込み検索等で
 文言で抽出することができます

[目次へ](#)

取引先残高管理を始める

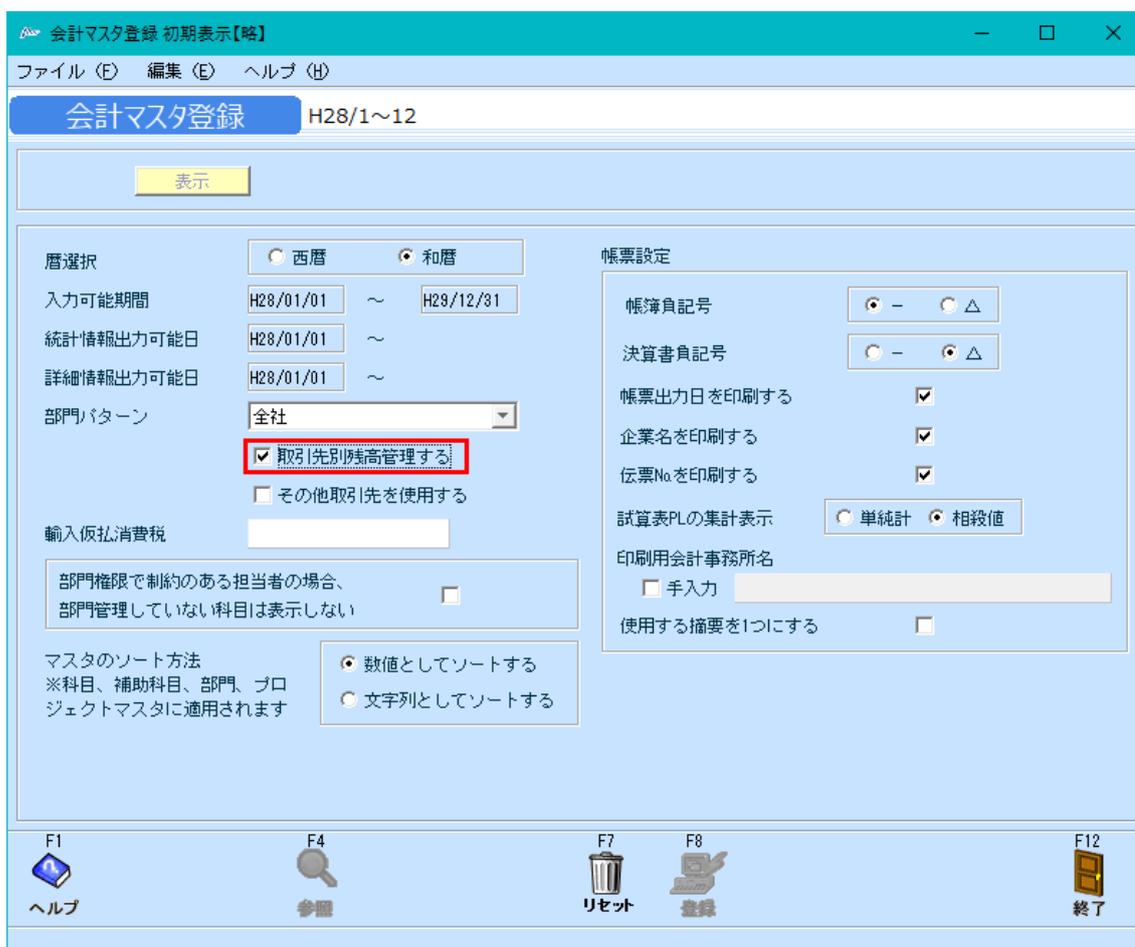
- ① F7-2 科目マスター一覧登録にて「取」（取引先管理する）にチェックします



略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税			使用期間	
	検索コード	が検索	ロ-マ字			損益属性	資金繰り属性	補		部
買掛金	買掛金			仕入債務の増減額	仕入債務の増減額					
	2002	かいがかり	KAIKAKER		買掛			<input checked="" type="checkbox"/>		

- ② F7-1 会計マスタ登録にて「取引先残高管理する」にチェックします。

※「その他の取引先を使用する」は退避用の取引先を使用する際にチェックするので、この場合はチェックしないでください。



会計マスタ登録 初期表示【略】 H28/1~12

表示

層選択: 西暦 和暦

入力可能期間: H28/01/01 ~ H29/12/31

統計情報出力可能日: H28/01/01 ~

詳細情報出力可能日: H28/01/01 ~

部門パターン: 全社

取引先別残高管理する

その他取引先を使用する

輸入仮払消費税:

部門権限で制約のある担当者の場合、部門管理していない科目は表示しない

マスタのソート方法
※科目、補助科目、部門、プロジェクトマスタに適用されます

数値としてソートする

文字列としてソートする

帳票設定

帳簿負記号: - △

決算書負記号: - △

帳票出力日を印刷する:

企業名を印刷する:

伝票Noを印刷する:

試算表PLの集計表示: 単純計 相殺値

印刷用会計事務所名: 手入力

使用する摘要を1つにする:

F1 ヘルプ F4 参照 F7 リセット F8 登録 F12 終了

③ F7-4 取引先期首残高を設定します。

※科目期首残高とは連動しませんので、取引先合計と科目期首残高が

一致するようにして下さい。

差額があると、科目別取引先残高管理表上で調整額として表示されます。

④ 作成した取引先にてF1-1 伝票を入力します。

⑤ F7-3 科目別取引先残高管理表 取引先科目残高一覧表を出力できます。

科目別取引先残高一覧表

初期表示【正式名称】 平成28年01月 ~ 平成28年12月 (決算仕訳を含む)

科目	補助科目	取引先名	繰越額	借方金額	貸方金額	残高
買掛金		101 原木電気商会	1,500	1,000	0	500
		102 マスイ	1,000	500	0	500
			500	500	0	0

取引先別科目残高一覧表

初期表示【正式名称】 平成28年01月 ~ 平成28年12月 (決算仕訳を含む)

取引先名	科目	補助科目	繰越額	借方金額	貸方金額	残高
101 原木電気商会	買掛金		1,000	500	0	500
102 マスイ	買掛金		500	500	0	0

目次へ

7.取引先管理をやめる

- 取引先に数字が発生していても、取引先は削除できます。

※マスタ削除のため、過去に入力した仕訳の取引先情報も消えますのでご注意ください。

- 取引先に金額が発生していても、科目の取引先管理をやめることはできます。

※設定以降取引先の入力はできなくなります。設定以前に入力されたデータは保持されます。

[目次へ](#)

8.マスタの整理

発展会計のマスタは「検索コード順」に表示されます。

「使用不可」という表示のマスタが上層部に表示され見づらい場合は、検索コードを「8888」などの大きな番号に付け替えると下層部に表示されるので、管理しやすくなります。

※9999などのコードはシステムで使用していますので、使用しないことをお勧めします。

[目次へ](#)